

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 南 賢治

一般質問の通告について

令和4年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 町内の環境保全その後について</p>	<p><b>【趣旨説明】</b>                      わたくしは一昨年9月と本年3月に町内の環境保全について質問させていただきました。私の中で、ゴミ問題はSDGs(持続可能な開発目標)の一丁目一番地だと考えております。                      このため、今回12月定例会においても、地域の良好な環境保全に対する本町の取組みの進捗状況について質問させていただきます。                      3月定例会では、本町の素晴らしい環境を保全し、快適な生活環境の創出のため、少しでもポイ捨てを減らすための対策ができないものか質問させていただいた時に、本町には『武豊町空き缶等ごみ散乱防止条例』が制定されており、町民・事業者・土地所有者・町が一体となって環境の美化を図り、快適な生活の確保のため、それぞれの責務が明記されております。と、答弁をいただきました。                      また、第6次総合計画の生活環境の分野の基本方針の中で「まち全体で環境美化の意識が高まり、きれいで衛生的な環境が保たれているまちを目指します」として、2つの取組方針が示されています。「ごみのポイ捨てや不法投棄を未然に防止するため、地域ぐるみの清掃活動やパトロールを推進すること。」ならびに「既存の清掃活動の支援を継続するとともに、新規活動・活動団体の発掘を行うこと。」となっています。                      住民の皆さんと協働しながら町の環境美化に努めていく大変素晴らしい施策方針と思います。                      これら環境保全に対する住民との協働の方針に賛同し、私もごみ拾いウォーキングの継続と住民ボランティア団体の『ポイ捨てゴミ拾い隊』に参加し、月に1回約20分のゴミ拾いをしています。                      そこで、気づいたのは、まだまだたくさんのポイ捨てごみが多くあると共に、捨てられやすい場所が多く放置されていることでした。                      そのため、今後の本町のポイ捨てごみ対策や住民との協働による環境保全について、以下質問いたします。</p> <p><b>【質問事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 休耕地や空き地などの、管理が行き届かない、ポイ捨てが多い土地への対策はどのようになりましたか。</li> <li>② 昨年1月に、公害防止協定を締結している企業宛に、「ポイ捨て禁止のお願い」のチラシを配布したとのことでしたが、効果の検証はされていますか。</li> <li>③ ポイ捨て禁止の看板表記で外国語などをくわえたものを作成され掲示したと思うが、効果はありましたか。</li> <li>④ ボランティアの清掃活動に対する支援体制は、現在どうなっていますか。</li> <li>⑤ 道路や空き地に捨てられてしまうポイ捨てごみの削減に対して、過料や罰金のある条例制定に対する考えはいかがか。</li> </ol>